

今週のビルマのニュース 2008年4月11日【0807号】

「私たちはビルマ国民と国会議員とを代表して、世界中の国会議員に対し以下の緊急の要請をする
ものです。(中略) 軍政の憲法を受け入れず、承認もしないよう宣言すること」
—ビルマの国会議員から全世界の国会議員へのアピール (3月31日)

今週の主なニュース：国民投票が5月10日に

軍政は、起草した憲法草案の是非を問う国民投票を5月10日に実施することを決めた。軍政案の主要な問題点は以下：

- ・大統領には「軍事的見識」が必要とされ、文民の就任は困難。
- ・国会議員の25%は軍が指名する。
- ・大統領や議員になるには「外国から影響を受けていない」のが条件。アウンサンスーチー氏を排除。

国民民主連盟 (NLD) は国民投票への国際監視団の派遣を求めた。

その他：日本「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」総会を開催、ほか

・「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」総会が開かれた (9日)。今野東議員が2月に行ったビルマ難民キャンプ視察について報告。外務省からは渥美千尋南部アジア部長が軍政の民主化計画の説明などを行った。このほかビルマ日本事務所、日本労働組合総連合会 (連合)、ビルマ市民フォーラム (PFB)、ビルマ情報ネットワークが発言。PFBは国民投票について、ビルマの国会議員が出した声明に応えるよう議連と外務省に強く要請。ビルマ情報ネットワークは「今週のビルマのニュース」を紹介し、英国議会人権委員会副議長ベン・ロジャーズ氏の来日 (4月末予定) を伝えた。

・米国議会では下院の人権議員連盟が、昨年の民主化デモに参加した僧侶3人を証人として公聴会を行った (10日)。

ビルマへの政府開発援助 (ODA) 約束状況など

一般無償資金協力

草の根・人間の安全保障無償資金協力

双方とも今週の約束発表はなし

対ビルマ ODA が、昨年8~9月の弾圧後も止まっていなかったことがわかった。平成19年度は一般無償資金協力については件数も総額も前年度を上回った。草の根・人間の安全保障無償資金協力も、弾圧後3か月間は贈与されなかったものの、12月末に再

開してから17件が決定され、最終的には合計26件 (約1億9400万円) に上った。

イベントなど

- ・写真展「ビルマ2007 民主化運動: 高揚、弾圧、現在」(佐賀県立女性・生涯学習センター、13日まで)
- ・「連続セミナー第1回 在日難民—在日ビルマ難民 父の生き方、娘のあゆむ道 (東京)」ビルマ人父娘 (日本キリスト教会館4階、12日14時~)
- ・アースデイおおさか2008・日本ビルマ救援センター「難民支援バザー」(大阪ビジネスパーク・ツイン21ギャラリー、13日11~16時)
- ・日本ビルマ救援センター月例学習会「カレン民族同盟 (KNU) の揺らぎ—書記長の暗殺から」(大阪ボランティアセンター、18日19時~)
- ・アースデーイベント「ミャンマー軍事政権に抗議するポエトリーリーディング」いとうせいこうさん他 (代々木公園野外ステージ、19日14時~)
- ・日本ビルマ救援センター「2008年春・国境訪問報告会」(クレオ大坂、20日18時~)
- ・ビルマのお正月「ダジャン水かけ祭」(東京・王子 飛鳥山公園広場、27日10時~17時)
- ・「ビルマ東部で何が起きているのか? ~紛争・開発・難民 日英若手専門家の報告」ベン・ロジャーズ、秋元由紀 (豊島区民センター、27日18時~)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース (平日毎日更新)

<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク

<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165